

1 単元名 漢字柱になろう ～3校合同お楽しみ会の準備をしよう～

2 単元(題材)について

(1) 単元観

本単元で扱う内容は、特別支援学校学習指導要領国語科の目標「(2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思考力や想像力を養う。」の中の内容の取扱いについての配慮事項「(1) 日常生活や他教科等で必要な漢字を読み、文や文章の中で使うなど、適切に指導内容を設定し、指導すること。」を受け位置づけている。また、児童の実態から、小学校学習指導要領の下学年の目標に照らし合わせながら取り組むことで、ねらいに迫りたい。

身近な特別支援学級の行事である、「3校合同お楽しみ会」の準備として、プログラムや招待状を作成することは、相手を意識し目的がはっきりしてくるので、取り組みやすくなる。そして、そのためには、相手に伝わりやすいように、漢字を書くことが必要になってくる。そこで、正しい漢字を覚えるための活動として「3つの覚え方」(間違い探し・字形パズル・組み立て)を取り入れることで、楽しくゲーム感覚で課題に取り組むことができ、意欲にもつながる。また、覚え方を児童の好きなキャラクターを使って、段階的にクリアしていくことで、達成感も感じられる。課題に取り組む中で、自分に合った漢字の覚え方のコツを見つけ、漢字に親しみ、抵抗感を軽減することを期待したい。

(2) 児童生徒観

実態については、省略させていただきます。

(3) 指導観

漢字の習得の困難さの要因が児童個々に違うことから、自立活動の内容項目とも関連しながら、自分に合った習得方法が必要になってくる。1つの覚え方だけでなく、複数の覚え方を集団学習の中で楽しく体験(練習)し、個別学習に戻していくことで、自分に合った覚え方を見つけ、今後の学習でも自信を持ってできるようにしていきたい。また、漢字を使う場面を具体的に設定し、漢字を使う必要性を持たせることで、書く意欲につながるのではないか考える。上記の活動のために、1時間の中で用いられる漢字は変えず、使う漢字を個別に配慮することで、漢字への抵抗が少なくなり取り組みやすくなると思う。

〈研究仮説について〉

主体的に学びたいと思えるような導入や目的を設定し、個に合わせた手立てを工夫すれば、主体的に学びに向かう力が育つだろう。

児童の実態をうけて、本単元は以下の点について特に意識して指導にあたる。

①目的意識をもたせる

・12月に行われる、「3校合同お楽しみ会の準備」を目標に、自信につなげていけるようにする。学習のゴールである招待状の作成については、各校の校長先生に宛てて書くため、明確な目的をもって学習に取り組むことができる。

②自分に合った学習方法を選んで学習に取り組むための工夫

・漢字の覚え方について3パターンの学習を行い、自分の中で理解しやすい学習内容から個別課題に取り組む。自己選択をすることで主体性も高まっていく。これまでの学習では、そういった活動を行っていないので、自己選択ができるよう、声かけなどで支援をする。

③活動の流れを明確にして見通しをもたせる

・単元全体の学習の流れを単元計画で示す。それぞれの学習時間に関しても、できる限り同じような活動になるよう、指導を計画する。そうすることで、学習活動に悩むことなく、見通しをもって学習することができる。

④題材の意欲付け

・児童が親しみやすく取り組めるよう、アニメ『鬼滅の刃』を学習の中に取り入れて学習への動機づけにする。児童は本作品が好きで、休み時間に絵を描いたり、剣に見立てたもので遊んだりしている。作品内で出てくる階級を学習の中で活用することで、目標をもって学習に取り組めるようになる。

以上の4点を意識し、自分に合った漢字の覚え方の活動を行うことで、苦手意識のある漢字学習に前向きに取り組ませていきたい。

第一次では、学習のゴールである3校合同お楽しみ会の準備をすることと、招待状を校長先生に渡すことを伝える。招待状だと漢字の数が多く、難しくなることが予想されるため、まずはお楽しみ会のプログラムに使われる漢字について学習していく。始めに、平仮名だけのプログラムを全体で確認し、漢字で書かなければ読みにくいこと、伝わりにくいことが分かるよう指導し、見えそうな漢字を確認することで漢字について学習を進めていくということを学習の中でおさえて指導したい。

第二次では、漢字の学習の仕方、覚え方について学習をする。3時間の中で異なる漢字の覚え方で学習を行うが、学習全体の流れは変えず、児童が初めての学習で混乱することが無いよう学習を進めたい。ワークシートについては、個々のレベルに沿った内容で作成するが、個々の中でもレベルを設け、自分に合った学習難易度を自分で選べるように作成をする。振り返り時には、その時間に漢字がどれくらい覚えやすかったのかを鬼滅の刃の隊士の階級を使って表す。そうすることで、「上の階級に上がりたい。」という気持ちから、漢字の学習に前向きに取り組めるようにしたい。振り返り時の階級の上がり方については、自己評価になるがその評価が甘くならないよう、最初の時間に振り返りの方法を明確に掲示する。また、「前回の漢字の覚え方とどっちが覚えやすい?」といった、1時間ごとの比較を毎時間行うことで、第三次の時にどの方法で学習を進めていくかを決める手助けをしていきたい。

第三次では、学習のゴールである、招待状の作成をする。第一次と同じような流れにすることで、児童が安心して学習を進められるように指導したい。また、招待状を渡す校長先生に教室に来ていただき、一緒に平仮名だけの招待状を読むことで漢字の必要性を高められるようにする。正しい漢字を見つけていく活動では、自分で

学習方法を選ばせることで、課題に対して主体的に取り組めるようにしたい。正しく漢字を書けているときには認めたり、丸を付けたりすることで、自分で選んだ活動に自信をもって取り組めるよう指導する。清書の時間には、校長先生に渡すという目的意識をもたせることで、丁寧に清書できるよう指導する。

本単元の学習は、児童一人一人の正しい漢字の見つけ方について指導するので、この単元が終わった後も他の方法を提示して学習したり、学んだことを振り返ったりすることで継続して指導をし、定着させたい。

3 単元の目標

児 童	目 標
A	<ul style="list-style-type: none"> ・2～3年生までの漢字を、3校合同お楽しみ会のプログラムや招待状の中で使うことができる。 【知識及び技能】(1)エ(第3学年及び4学年) ・3校合同お楽しみ会のプログラムや招待状を書くなど、伝えたいことを書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】B(2)(第3学年及び4学年)イ ・進んで漢字の覚え方の課題に取り組み、自分に合った方法を見つけたり、漢字を使って書こうとしたりしている。 (学びに向かう力、人間性等)
B	<ul style="list-style-type: none"> ・2～3年生までの漢字を、3校合同お楽しみ会のプログラムや招待状の中で使うことができる。 【知識及び技能】(1)エ(第3学年及び4学年) ・3校合同お楽しみ会のプログラムや招待状を書くなど、伝えたいことを書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】B(2)(第3学年及び4学年)イ ・進んで漢字の覚え方の課題に取り組み、自分に合った方法を見つけたり、漢字を使って書こうとしたりしている。 (学びに向かう力、人間性等)
C	<ul style="list-style-type: none"> ・4年生までの漢字を、3校合同お楽しみ会のプログラムや招待状の中で使うことができる。 【知識及び技能】(1)エ(第3学年及び4学年) ・3校合同お楽しみ会のプログラムや招待状を書くなど、伝えたいことを書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】B(2)(第3学年及び4学年)イ ・進んで漢字の覚え方の課題に取り組み、自分に合った方法を見つけたり、漢字を使って書こうとしたりしている。 (学びに向かう力、人間性等)

4 単元(題材)の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・2～4年生までの漢字を、3校合同お楽しみ会のプログラムや招待状の中で使っている。</p> <p>【知識及び技能】(1)エ (第3学年及び4学年)</p>	<p>・3校合同お楽しみ会のプログラムや招待状を書くなど、伝えたいことを書いている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】B (2)(第3学年及び4学年)イ</p>	<p>・学習に見通しをもち、自分に合った漢字の覚え方を見つけて取り組み、漢字を使って書こうとしている。</p>

5 指導と評価の計画(7時間扱い)

学習過程	時配	学習活動と内容	○支援、●評価の観点
第1次 (見出す)	1	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のゴールで3校合同お楽しみ会の準備をしていくことを確認する。 ・教師が作成した、平仮名だけのプログラムを読む。 ・平仮名だけだと、読むことが難しいことを確認する。 ・平仮名のプログラムで、漢字がつかえそうなところを○で囲む。 ・本単元で漢字の学習をしていくことを確認する。 ・漢字探しをする。 	<p>○どの字を漢字にしていいかわからない箇所は、教師と一緒に確認する。</p> <p>●学習の見通しをもち、目標に向かって進んで学習しようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>
第2次 (広げ深める)	2	<p>○プログラムを作成する。(1)</p> <p>〈漢字の呼吸 壱ノ型〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字選択に取り組む。 ・正しい漢字を確認する。 ・漢字を正しく練習する。 ・漢字間違い探しに取り組む。 ・プログラムに漢字を書き入れる。 ・学習の振り返りを行う。 	<p>○個に沿った学習レベルのワークシートを準備する。</p> <p>○個別学習をする前に、全体で確認をする。</p> <p>○同じ読み方をする漢字や、形の違う漢字を用意し、多くの漢字から選択できるようにする。</p> <p>●漢字の選択問題で漢字を覚えることができる。【知識・技能】</p> <p>〈観察・発言・ワークシート〉</p>
	3	<p>○プログラムを作成する。(2)</p> <p>〈漢字の呼吸 弐ノ型〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字選択をする。 ・正しい漢字を確認する。 ・漢字を正しく練習する。 ・字形パズルに取り組む。 	<p>○個に沿った学習レベルのワークシートを準備する。</p> <p>○個別学習をする前に、全体で確認をする。</p> <p>●字形パズルで漢字を覚えることができる。【知識・技能】</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムに漢字を書き入れる。 ・学習の振り返りを行う。 	〈観察・発言・ワークシート〉
	4	<ul style="list-style-type: none"> ○プログラムを作成する。(3) 〈漢字の呼吸 参ノ型〉 ・漢字選択をする。 ・正しい漢字を確認する。 ・漢字を正しく練習する。 ・漢字組み立てをする ・プログラムを完成させる。 ・学習の振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○個に沿った学習レベルのワークシートを準備する。 ○個別学習をする前に、全体で確認をする。 ●漢字間違い探して漢字を覚えることができる。【知識・技能】 〈観察・発言・ワークシート〉
第3次(まとめあげる)	5 本時	<ul style="list-style-type: none"> ○お楽しみ会の招待状を作成する。 ・校長先生と一緒に平仮名のための招待状を読む。 ・漢字で書けそうなところを○で囲む。 ・これまでの学習をもとに、正しい漢字を見つけて書く。 ・招待状に漢字を書く。 ・学習の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○どの字を漢字にしていいかわからない箇所は、教師と一緒に確認する。 ○自分でどのワークシートで取り組むか悩んでいる児童には、これまでの学習を振り返ったり、話をしたりして自分で選べるよう促す。 ●自分に合った漢字の覚え方を見つけて取り組み、漢字を使って書こうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 〈観察・ワークシート〉
	6	<ul style="list-style-type: none"> ○招待状を完成させる。 ・招待状の自分の考えた文章を漢字で書く。 ・学習の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○書く内容が分からない児童には、ヒントカードとして参考例を渡す。 ●3校合同お楽しみ会の招待状を書くなど、伝えたいことを手紙に書くことができる。【思考・判断・表現】 〈ワークシート〉
	7	<ul style="list-style-type: none"> ○招待状を完成させる。 ・招待状の清書をする。 ・学習の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○丁寧に清書できるよう、声かけをする。 ●3校合同お楽しみ会のプログラムや招待状の中で使っている。 【知識及び技能】 〈ワークシート〉

6 本時の指導(5/7)

(1) 本時の全体の目標

・自分に合った漢字の覚え方を使って、招待状の漢字を書こうとしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

(2) 本時の個別の目標(別紙)

(3) 本時の展開

過程	学習内容と学習活動	○指導・支援 ◇評価 ◎個別の支援・合理的配慮	備考
導入 (見出す) 10分	1. 学習計画を見て、本時の流れを確認する。 2. 本時の課題をつかむ。前時までの学習を振り返る。 3. 校長先生と一緒に、平仮名のみの招待状を読む。 漢字で書けそうなところを確認して、丸で囲む。	○学習の流れを確認して、見通しをもたせる。 ○学習計画を見て、今日の学習に気付かせる。 ○児童が気づかなかった箇所については、教師からも伝え、丸を付ける。	学習計画の掲示 平仮名のみの招待状の拡大掲示
展開(自分で取り組む) 25分	4. 自分で選んだ漢字の覚え方を選択し、招待状を漢字に直す。 ・漢字選択問題を行う。 ・書けた漢字を個別で確認し、練習する。 ・自分に合った方法で漢字の覚え方に取り組む。 ・覚えた漢字の学習「覚えるタイム」で漢字の練習をする。	○これまでに学習した漢字の覚え方を確認する。 ◎どの学習方法にしようか悩んでいる児童に対しては、教師の見取りから選択を促す声かけをする。 ○課題に取り組みながら、内容、レベルを変えていいことを伝える。 ◇自分に合った漢字の覚え方を使って、招待状の漢字を書こうとしている。 〈主体的に学習に取り組む態度〉	漢字学習のワークシート

④「漢字の呼吸」を使って、お楽しみ会の招待状を書こう。

